



りとせ相模大野保育園

子育て支援広場 子育て情報 令和7年8月号



連日の熱中症警戒アラートで外遊びがままならない状況はありますが、子どもたちは輝く太陽にも負けな
いくらい元気いっぱい、大好きな水遊びができる日には大はしゃぎです。水の心地良い感触や不思議さ、面
白さを知り、興味をもってたくさんのかんじいています。先月は給食試食懇談会を実施し、保護者の方から
様々な質問や「給食が美味しい」「子どもたちが羨ましい」、「このレシピが知りたい」などのご意見も頂きました。
また、5歳児はサマーアドベンチャーでプリンス英米学院の先生方も一緒にお泊り保育を行いました。
初めてお家を離れ、英語いっぱいのお泊り保育でしたが、帰ってきた子どもたちは自信と達成感を得て頼もし
くなっていて、子どもたちの可能性の大きさを実感しました。

水遊び用の手作りおもちゃ

「食品トレー」

竹串に画用紙で帆を付けて、お肉やハムな
どが入っている食品トレーにさすだけで水
の上を走る船になります。動力は団扇で仰
いでもいいですがドライアイスをつけても
面白いですよ。

「ペットボトル」

ペットボトルを半分に切って底に穴をあけ
て持ち手を付けるとシャワーのように遊べ
ます。ペットボトルにビニールテープで模
様をつけると自分だけのシャワーになりま
す。

「牛乳パックとペットボトルの蓋」

ペットボトルの蓋を二つ合わせてカラーポ
リで包み輪ゴムでとめる。牛乳パックをポ
イの形に切ってネットをつけると、お家でも金魚すくいが出来ます。

是非、作ってやってみてください。



豊かな経験が学力の土台

乳幼児期は、経験によって色々な能力を身に付けていきま
す。生活体験だけではなく、遊び、人との関り、コミュニケー
ションなど様々な実体験が経験となり、それら一つひとつの積
み重ねが学力の土台になっていきます。

例えば、お買い物のお手伝いをして荷物を持ってみた時、一
人で持ったら重かったけど、二人で持ったら軽くなったという
ことを実感します。また、実際に自然の中で触ったり観察した
り駆けまわったりする中で、感触やにおい、不思議を感じま
す。これらの経験は就学後の学習の中で鮮やかによみがえり
「1/2 っていうことか!」とか「あの青虫がこのちょうち
ょに?!」などなど授業の内容を面白がり、もっと知りたい、
知ること、分かることって楽しい!と探求心や思考力に繋がっ
ていきます。

乳幼児期は、学力の基礎を培うことができる時期でもありま
す。学習は人への信頼によって成り立ちます。人への信頼感を
培うことが話を聞く力と学習への姿勢に繋がります。家族や友
達に伝えたいと思える体験があり、それを言葉にして伝えるこ
とが言葉の力に繋がります。そして、見立てたり、何かをやっ
ているつもりになったりと、遊びを自らつくって楽しむことが
想像力や思考力、応用力、創造性に繋がります。

この他、幼児期に「めんどくさい」「疲れた」と体力が無かつ
たり、生活習慣が自立していなかったりすると学習に臨むこと
が困難になります。

乳幼児期にこそ、人や自然と関わり、知識を得るよりも体
験、経験を重ね、学力の土台を育むことを大事にしてみたいは
いかがでしょうか。

育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか?りとせ
相模大野保育園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。

お待ちしております。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-14-2 4階 TEL 042-705-5311